

街を景観形成推進地区にしよう

ベイタウン協議会が基準案を発表

7 年前の震災で道路をはじめ公共部分の損傷が進み、ベイタウンの景観が落ちています。更に以前では考えられなかった派手な広告や電線付きの信号機が設置されるなど人為的な要素による景観の悪化も目立っています。今のままでこの街の景観は大丈夫なのか。そう思っていたところベイタウン協議会が「幕張ベイタウン地区 景観形成推進地区指定に向けて」と題する住民説明会を開催しました。

会議では出来上がったばかりの A4、18 ページにもなる詳細な「景観形成基準案」が配られ、景観維持を考えるベイタウン協議会の熱意が感じられました。この基準案がベイタウンの景観を守る救世主となるのか。期待を込めて取材しました。【松村】

会議が開かれた 6 月 3 日午後、地域連携センターに集まった参加者は 30 人。ほとんどが毎回出席している常連ですが、新しく参加した若い人の姿も見られ、問題の重要さが少しずつ認識されてきているように感じました。

協議会が今回の会議で目標にしたのは 2 つ。取りまとめられたばかりの景観形成基準案を発表すること、ベイタウンを景観形成推進地区に指定するために活動のロードマップを示すことです。

ベイタウン協議会では景観を維持するために、ベイタウンが「景観形成推進地区」として千葉市から指定されることが方策のひとつと考え、そのための準備をしてきました。景観形成推進地区は市が条例で指定するもので、指定されれば法的な裏付けを持つこととなります。

指定を得るためには「景観形成基準案」を住民から提案することが必要であり、協議会では委員会を設けて専門知識のある住民を含めて基準案を練ってきました。

今回発表された基準案はその成果としてまとめたものです。都市計画の専門家であると同時に住民である委員が作った基準案は、街区・住棟はもちろん道路など公共部分についてもできる限り取り込もうとしています。資料では基準を具体的な図や写真を示して分かりやすく説明しています。時間をかけて検討され作り込まれた跡が見て取れるもので、同じ住民としてこれほどの文書を提出できることを誇りに思うほどでした（文書は協議会のホームページ：<https://www.bt-machi.com/> から閲覧可能）。

都市計画の専門家がベイタウンに住むことを決めた理由とは？

今回の基準づくりを行った委員のひとり、木下真さんは 8 番街に住むベイタウンの住民です。木下さんがベイタウンに越して来たのは 2 年前。これまでのベイタウンの歩みや、街の開発の経緯を知ってこの街を選んだのではなく、定年を間近に迎え、海外勤務から帰って日本で住むことになったとき、約 2 年かけて首都圏でこれから住む住宅探しをし、都市計画の専門家という職業柄多くの街を比較検討したそうです。

木下さんがベイタウンを選んだ理由とは、意外にも街並みが美しいとかではなく、この街の景観が持つ「安定感」でした。日本では街の景観はとても不安定で、ある日突然家の前の住宅が建て替わるのはよくあること。法律に合致する限り国や地方自治体にそれを止めることはできないのだそうです。

木下さんはベイタウンを見たとき、この街なら建物だけでなく街全体が統一したコンセプトでデザインされているので、この街並みの風景が持続して維持されるだろうと感じここに住むことに決めたそうです。なるほど、景観の安定性とは今まで気付かなかったベイタウンの魅力です。



ムページ：<https://www.bt-machi.com/> から閲覧可能）。

しかしこの文書を提出すれば千葉市がすぐにベイタウンを景観形成推進地区に指定するかというと、そう簡単ではありません。文書内には例えば住民が街区の大規模修繕や建て直しなどの工事を行う際のデザインについて制限を設けることや、同時に行政が道路やその他のインフラの仕様を変える際にも守るべき基準が含まれています。実現までには何度も協議やすり合わせが必要になるでしょう。

この会議で協議会は今後のロードマップも併せて発表しました。それによると今回の基準の発表は大きな節目ですが、住民の合意形成など申請までに越さなければならないハードルがまだ多く残されています。

協議会は千葉市と話し合いながら作業を進め、悪くない感触を得ているようですが、千葉市は協議会の基準案にベイタウン住民の多くが合意していることを最大の条件としているそうです。今後は住民の合意形成がポイントになります。協議会では今後各マンションの管理組合に個々に説明するなど理解を得るための作業に力を入れるそうです。

ベイタウンの景観が守られてきたわけ

幕張ベイタウンは千葉県企業庁が開発した街です。企業庁は開発するにあたり都市計画の専門家会議をつくり、街のデザインに関するガイドラインを決め、企業庁が作る道路などのインフラも、民間ディベロッパーがつくる住宅部分もこのガイドラインに沿って設計し、開発することを求めました。

このガイドラインは開発が終わった後も街を管理する指針となり、大規模修繕での外観の低下や景観に合わない道路の補修工事からベイタウンを守ってきました。無秩序な広告がなかったのもそのためです。

しかし開発が終わり街が千葉市に移管されると事情が変化しました。ガイドラインには法的な裏付けはなく、財政の悪化や東北大地震による大きな損傷もあり千葉市にはこれまで通りの管理を行うことは難しくなっています。

ベイタウン協議会とは

公共部分の劣化など将来的に管理状況が悪くなることは移管前から予想されたことでした。そのため景観を含めた課題など街の管理に関して住民が市と協議できる機関として、平成 23 年に「幕張ベイタウン協議会」を設立しました。

協議会は現在まで、年間 2 回程度の街作りフォーラムや街歩き会などの住民への働きかけ、千葉市による街灯の LED 化に住民の要望を取り入れさせるなどの活動を行っています。

子ども記者が伝える

今僕の学校では…

打瀬小学校 6年生

No.22
打瀬小学校編

さとあいさつが、世界一あふれる街、ペイタウンが大好きです。

吉村 桃

私は、小学校1年生の時にペイタウンに引っ越してきました。初めて来たとき、おしゃれなマンションがたくさん並んでいるのに、緑も多いのに驚きました。ケーキ屋さん、雑貨屋さん、土気から来た私には何もかもキラキラして見えました。そんなペイタウンの中で私が一番好きなのは、町の人たちが優しいところです。朝・昼・夜いつもあいさつをしたらかえって来たり、あいさつをされたり、あいさつがあふれているのは、町の人がやさしいからだとは思いますが、また、よく落とし物などが木にかかっていたり、学校に届けられたりしています。私も一度家の鍵を落として困っていたら、学校に届けられていたということがありました。この町の人たちは、優しい人ばかりです。私はそんなペイタウンを大切にしたいです。

大木 汐里

私がペイタウンで好きなのは、ペイタウン祭りです。私は年に1回のペイタウン祭りを楽しみにしています。

私はいつもお店を出しています。そして大勢の人が買ってくれます。しかし、私のお店だけではなく、ほかにもいろいろなたくさんのお店があります。一つ一つ売っているものが違うところも、私はよいところだと思っています。

ペイタウン祭りだけではなく、もう一つ好きなのは、それは町並みです。学校にドアがなかったり、電柱が地中に埋められていたり、マンションがカラフルだったり、たくさん特徴があるこのペイタウンが大好きです。生まれた時からずっと一緒だったペイタウンは、私の自まんの町です。

神谷 奈緒子

私は、小さいころからペイタウンに住んでいます。ペイタウンの好きなのは、景色がきれいなことです。町のいろいろなところに花や木が植えてあって、よく見ると改めてきれいだなと感じます。また、夕方にマンションの高いほうに行ってみると、夕日と富士山が一緒に見えます。オレンジの夕日と富士山が重なって見ると、とてもきれいです。このきれいな景色があると、私はペイタウンに住んでよかったと思います。これからもペイタウンを大切にしていきたいと思えます。

小西優香

私はペイタウンが好きです。その中でも2つ好きがあります。

1つ目は年齢関係なくあいさつができることです。エレベーターの中や道で会ったときに小さい子でもお年寄りでも話しかけられるので、知り合いが増え、毎日が楽しく過ごせると思えます。また、いろいろな人とふれあうことで、あいさつの輪が広がり、ペイタウンがよりにぎやかな町になっていると思います。お年寄りがよく声をかけてくれるので、今度は自分から声をかけたいです。

2つ目は、町がきれいなことです。電柱がなく街並みがきれいです。また、ごみをポイ捨てる人があまりいないのでごみが少ないです。私はこのきれいなことを保つために、ごみはなるべく持ち帰り、積極的にごみ拾いをしようと思えます。

人と人がふれあえるきれいなこの町は、私の宝物であり、大好きな町です。

石井 咲

私はこのペイタウンに12年間住んでいます。ペイタウンはいい町です。あいさつをしてくれる地域の明るい方々。優しい友達。おいしいカフェ。にぎやかなペイタウン祭り。いいところはたくさんありますが、その中でも私は自然があるところが好きです。

春になればチョウが舞い、夏になればセミが鳴き、秋になればコオロギが鳴き始めます。ツバメもここに巣をつくれます。また、木々は道のわきに必ずあり、海をペランダから眺めることもできます。高いところからペイタウンをながめると、とてもきれいな景観です。場所によっては富士山も見えます。

また、景観を乱さないよう、電柱を地中に埋め、ごみも地中に埋められた管を通して送られます。ですから、カラスがごみをつつく心配もありません。

私はこんな工夫がされ、自然もあり、景観もいい素敵な街、ペイタウンにずっと住んでいたいし、大好きです。

軽部 航太郎

ぼくは11年間この街に住んでいて、すぐすてきなと思っていることがあります。それは、風景や飲食店ではなく、「人」です。ペイタウンの人の「やさしさ」が世界一だと思っています。ぼくは、この間、タウンルートのバスの車内で、「塾帰り？おつかれさま。がんばってね。」と声をかけられ、「はい。ありがとうございます。」とお礼を言いました。このようなやり取りが、世界で一番多い街だと思います。

さらにこのペイタウンは、ぼくの「あいさつ力」を高めてくれたと思います。ぼくは、登下校の時、あいさつをするようにしています。その力は、街のみんなが作ってくれました。先日のペイタウン朝市で、「おはよう。」「こんにちは。」「天気がいいね。」と声をかけてくれました。マンションのエレベーターでも「何階？」と聞いてくれたり、「さようなら」というあいさつが聞こえてきます。そんな街が、ぼくを育ててくれたんだと思います。ぼくはそんなやさし

流しそうめん 案内

日時：2018年7月8日 10時受付開始

場所：打瀬公民館前広場前

参加費：200円

参加人数：120名（人数に達したらしめ切ります）

夏休み子ども将棋大会

主催：社会福祉協議会 打瀬地区部会

日時：

7月29日（日）午後1:00～4:00

場所：幕張ペイタウン地域連携センター

募集人数：24人（先着順）

参加資格：ペイタウン在住の小学生

参加費：無料

申込み：高田（TEL：211-0918）

締め切り：7月20日

夏休みラジオ体操のお知らせ

今年も3つの小学校を巡回してラジオ体操を行います。子どもから大人まで、みんなで参加しましょう。

前半：7月21日（土）～7月27日（金）

海浜打瀬小学校 校庭

7月28日（土）～8月3日（金）

美浜打瀬小学校 校庭

後半：8月25日（土）～8月31日（金）

打瀬小学校 校庭



街路樹の剪定でグリーンサムが千葉市と実地検分

そろそろ梅雨に入ろうかという6月4日(月)の夜、自治会下部組織の「グリーンサム」がベイタウンの街路樹の剪定が必要な箇所を管理者と現場で確認する会合がありました。グリーンサムはこれまでベイタウンの街路樹の生育観察や緑地への植栽などを行っているグループで、その活動は18年に及びます。

今回の会合は、街路樹と街灯に十分な間隔がなく枝葉がかかっている箇所について、臨時に剪定するかどうか判断するために行われました。

参加したのはグリーンサムのメンバー5人(うち1人は小学生)と千葉市で美浜区全域の街路樹や公園緑地の管理を担当する美浜公園緑地事務所の小谷さん。小谷さんはこれまでもベイタウンの防災委員会のメンバーとともに毎春秋に防犯面から街路樹や公園等を点検して必要な剪定を手配するなど、きめ細かい対応をしています(直近では昨年度末に一丁目公園横の街路樹と公園樹木の剪定が手際よく行われ、夜間はとても明るくなりました)。

今回問題になっていたのは、美浜打瀬小と11番街の間の街路樹(モミジバフウ)と、打瀬小と3番街の間の街路樹(ユリノキ)で、どちらも葉が茂り歩道部分の照明が不十分になっていることです。

防犯上問題があるなら切ればいいのですが、ただ切るだけでは街路樹の生育が悪くなる可能性があり、年間管理スケジュールでは、個々の生育状況に合わせた柔軟な管理がしにくい実情もあります。生育を妨げずに既定の作業スケジュールにうまく組み込める範囲でどう剪定するか検討するのが今回の目的です。

早速美浜打瀬小脇の街灯から実地検分です。時刻は夜7:30頃。ベイタウンは歩道の幅が広く、特にこの区間は高い位置から道路を照らし、グラウンドや緑地沿いでもあるため夜間は他よりも暗めに感じます。街開き当初は生育が悪かったモミジバフウも今は高くなり、街灯の間隔が十分に空いていない箇所では枝葉が照明部分にかかり、歩道側の光が遮られていました。普通街路樹は葉を落とす秋に切るのが基本だそうですが、通り全体の正式な剪定は後ですとして、防犯面にも考慮して数カ所の枝剪定を早めることにしました。

そのまま他の街路樹の様子も見ながら打瀬小周りのユリノキの状況を見に行きました。途中、育ちの悪い街路樹や傾いた木などについて、小谷さんから詳しい解説をもらいました。木には1本1本それぞれ「事情」があり、自然の中では放置して剪定などし

ないのが一番いいそうです。樹木を人間の都合に合わせて「街路樹」として育てなければいけないことの難しさを感じます。

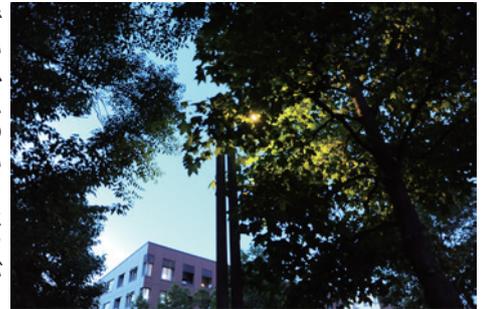
打瀬小周りのユリノキも先のもミジバフウと同様、夏休み前に早めに数カ所で枝葉の剪定をすることになりました。

読者の中にはこんな些細なことのために千葉市の担当者を夜間の業務時間外に呼び出し、話し合うことに効率の悪さを感じる人がいるかもしれません。実際僕も同行して見るまでは同じようなことを感じていました。今回取材してみて印象に残ったのは、管理者と相互に情報交換をしながら街路樹への柔軟な対応をしてもらおうとするグリーンサムと専門性に誇りを持って真摯に対応する担当者の姿勢でした。こんな作業を積み重ねることで予算の額の大小だけでない効果と信頼をつくることのできるのだと思いました。

ベイタウンの街路樹はこれから初夏に向い緑が濃くなる美しい時期です。今まで何気なく見ていた街路樹1本1本が少し違って見えました。



(写真上) 打瀬東通りでユリノキの剪定について検討する千葉市の小谷さんとグリーンサムのメンバー。照明との関係なので夜間でないと現場で検討できない。(写真右) 歩道から見た街灯の光。モミジバフウの枝が茂って歩道が暗くなっていた。



失われた小さな命 ペットは責任を持って飼いましょう

これは、まだ春まだ浅き3月下旬の出来事です。ベイタウンのとあるマンションの外階段に、うずくまっている猫が発見されました。迷い猫だろうと、管理人さんが飼い主捜しの掲示をするなど飼い主探しをするも、飼い主は見つかりません。猫は追い払われても元に戻ってきてしまいます。心配した住民が餌を与えました。

屋外ではリードに繋がれていることが前提の犬と違い、猫は放し飼いが前提なので、たとえ迷い猫と思われる状態であっても単純に捕まえることはできません。そのマンションの住民も、管理人さんも見守ることしかできませんでした。

しかし、日に日に弱っていく様子を見かね、住民の一人が獣医に連れて行きました。猫は逃げる気力もなく、しかも抵抗なくケージの中に入ったとのこと。獣医によると、この猫はオスで推定4歳、毛並みの良さと野良猫にはつきもののケガの傷跡が全くなかったことから、飼い猫であつたらうとのことでした。しかし、時すでに遅く、腎不全、膀胱破裂の状態だとわかり、緊急手術は成功したものの回復には至らず、残念ながら未明に息を引き取りました。

飼い猫の寿命は15~20年。たった4年で終わってしまった

この小さい命。何らかの事情があつたにせよ、飼い主としての責任放棄が死なせたのではないのでしょうか。ペットは最期まで飼う。当たり前のことですが、やはり相当な覚悟をもって、家族の一員として小さな命と向き合うべきなのです。

取材をして、心を砕いて猫を見送った方々の、このようなやるせない出来事は二度と起きないようにしたい、という気持ちがひしひしと伝わってきました。写真の猫は、何を訴えかけていたのでしょうか、心が痛みます。【小原】





館長イチ押し！主催講座

夏休み講座情報第2弾～8月2日受付開始

公民館では、毎年「夏休み体験教室」を開いていますが、今年の夏休みは「夏休み後半も公民館の講座にたくさん参加してほしい」という願いから、夏休み親子体験特別企画を実施します。昨年も実施した「きもの&マナー教室」や親子で参加できる「親子で歌おうディズニー&クラシック」「親子で作ろう夏休み思い出アルバム教室」そして、小学生対象の「紙芝居をやってみよう」体験教室と館長さんも頑張って企画しました。どうぞ振るってご参加ください。

◇講座内容

その1：伝統文化「きもの&マナー教室」(無料)

8月20日(月) 2組

- ① 13:00～15:00
- ② 15:00～17:00

打瀬公民館和室

講師：幕張ベイタウン伝統文化和装礼法伝承の会

対象：小学1年生～6年生／親子での参加も可
(定員：先着各組12名／含保護者)



その2：「親子で歌おうディズニー&クラシック！」(無料)

8月25日(土) 10:00～12:00

打瀬公民館音楽ホール

出演・協力：ジュニアコーラスフェアリーズ

講師：森本真由美先生

演奏：白田圭介さん

対象：就学前児～小学生と保護者／30組程度
(申し込み不要、当日直接来館してください)

その3：わくわくおはなし会/夏休み特別企画

体験「紙芝居をやってみよう」(無料)

8月30日(木) 10:00～12:00 場所：打瀬公民館講習室

協力・講師：わくわくおはなし会の皆さん

対象：小学1年生～3年生(定員：先着20名)

その4：親子体験「夏休みの思い出のアルバムを作ろう」

8月30日(木)

14:00～16:00

打瀬公民館工芸室

協力・講師：アルバムの会

対象：就学前児～小学生と保護者(8組)

ワークショップ参加費

お子さん一人1000円

(材料代を含む)



◇申し込み方法

いずれも8月2日(木)受付開始、直接打瀬公民館窓口または電話で、「アルバムづくり」の参加費は当日持参

〈問い合わせ〉打瀬公民館電話 296-5100

受付、問い合わせ時間は9:00～17:00

わくわくおはなし会 7月のおはなし会

日時：7月21日 第3土曜日 10:30～

場所：ベイタウン・コア講習室

今月もわくわくするお話を用意してお待ちしています。
年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！
予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎
ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>
お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

第173回ファツィオリの会

日時：2018年7月22日(日) 18:30～

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

締切：2018年7月15日(日)

申込先：09brillanteaki@gmail.com (庄司)

寺子屋工作ランド

ふしぎな「セミ」

日時：7月28日(毎月第4土曜日) 9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

振り回すとセミが大きな声でなきます。なきごえは笛によってちがいます。

持ってくるもの：はさみ、折り紙

参加費：50円(保険料)



今年も絵本の音楽会を開催します。ピアノとヴァイオリンの音色を聴きながら、物語の世界を旅してみましよう。ぜひ、ご参加ください。

出演：ピアノ 新垣 隆氏、ヴァイオリン Duo Rozwoj (加藤 恵理氏、小林 玉紀氏)、語り 飯原 道代氏、絵本・童話作家 きむら ゆういち氏

日時：8月18日(土) 午後5:00～6:30(開場4:30)

会場：打瀬公民館(コアホール)

対象：千葉市在住または在学の5歳以上の方

定員：150名(応募者多数の場合は抽選です。8月上旬に結果を通知します。)

参加費：無料

応募方法：往復はがきに「代表者氏名」「電話番号」「抽選結果をお知らせする住所」「参加人数と全員の氏名と年齢(4名まで)」を明記し下記まで郵送

またはHP「美浜図書館打瀬分館」より、電子申請

<http://www.library.city.chiba.jp/facilities/mihama-utase/index.html>

締切：7月28日(土) 必着

応募・問い合わせ先：

〒261-0013 美浜区打瀬 2-13 打瀬分館 TEL 043-272-4646